

栄養管理部 栄養指導管理室

部長	伊藤 正明
管理栄養士	
常 勤(管理栄養士)	2 名
非常勤(管理栄養士)	3 名

■ 特色・業務内容

糖尿病、肝疾患、腎疾患、高コレステロール血症、肥満、高血圧、胃・腸疾患、先天性代謝異常症、癌化学療法、術前術後の栄養管理など、病態が1人1人違うように、食事療法もそれぞれ異なります。

栄養指導管理室では、専任の管理栄養士5名が、患者さん1人1人の栄養アセスメントに基づいて栄養指導を継続的に実施し、オーダーメイドの栄養療法によって治療効果を上げています。特に三重大学は栄養指導に理解のある医師が多く、栄養指導件数は年々増加しています。

1. 栄養指導

1) 個人指導

管理栄養士が専用指導室にて、患者さんとご家族の方に、病状にあわせわかりやすく指導しています。

指導日：月～金曜日 8:30～17:00

(祝日・年末年始を除く)※予約制、随時(要相談)

2) 集団指導

医師を中心としたチーム医療体制で運営しております。

- ・糖尿病教室〈年6回〉
- ・肝臓病教室〈年2回〉
- ・両親学級〈毎週水曜〉
- ・隣がん教室〈隔月〉

隣がん教室のアンケート結果より患者の家族との交流についての要望が高かったことから教室終了後に茶話会を定期開催しています。



図1 手作りスイーツと教室の様子



図2 教室の様子(肝臓病教室:テーマ「サルコペニア」)

3) グルメディカル教室

昨年度より開始されたグルメディカル教室では、医療と食事をテーマに、医師がセミナーを、管理栄養士が実演調理を行っています。調理実習、医師同席の試食会を通じて家庭での食事療法のサポートができる教室として、今年度は新聞でも取り上げられ、テレビ取材も受けました。



図3 中日新聞(2016.5)



図4 NHK テレビ放送(2016.7)



図5 管理栄養士による実演調理

現在開催中のグルメディカル教室
肝臓病/膵がん/乳がん/高血圧・減塩/メタボリック
クシンドローム(脂質異常症/糖尿病/高血圧)/腎臓
病/腎移植/肥満(平成 28 年度 38 回/年)



図6 グルメディカル教室のメニュー例

2. 栄養アセスメント

1) 体内成分測定(InBody720、InBody S10)

栄養指導前の栄養評価として、体組成測定を採用しています。体重だけでなく体脂肪量、骨格筋肉量、筋肉バランス、内臓脂肪、浮腫の程度の測定を行っています。



図7 体組成計、測定結果用紙

2) 間接熱量計(エアロモニタ、フィットメイト)

呼吸商(RQ)を測定し、入院患者に対する術前術後の的確な栄養評価、外来患者では基礎代謝や消費エネルギーを加味した栄養評価を実施しています。

3. NST・チーム医療

1) 消化器肝臓内科NST回診(毎週)

消化器肝臓内科カンファレンス(毎週水曜日)

また、肝臓病教室、肝臓病治療食教室は医師、管理栄養士、薬剤師、看護師のチーム医療として運営しています。

2) 腎移植・栄養カンファレンス(毎月)

腎泌尿器科医師、移植コーディネータ看護師、管理栄養士で月1回、腎臓移植レシピエント及びドナーの栄養治療方針についてカンファレンスを行っています。

3) 腎臓内科・栄養カンファレンス(隔月)

腎臓内科医師、管理栄養士が隔月で腎疾患患者の栄養治療についてカンファレンスを行います。

4. レストランプロジェクト

12F 中華レストランヘルシーメニュー監修

大学病院の栄養管理においては、複雑な合併症を伴う慢性疾患、周術期・癌患者の栄養維持など入院日数の短縮から特に外来への連携が重要であることから、外来で気軽に治療食を利用できるよう、2012年1月より減塩ヘルシーメニューを導入しました。

中華料理の特性を生かしながら、減塩でも美味しい組合せと、低カロリーでも満足感が得られるメニューを提供しています。ヘルシー日替弁当は、現在12種類が提供されております。

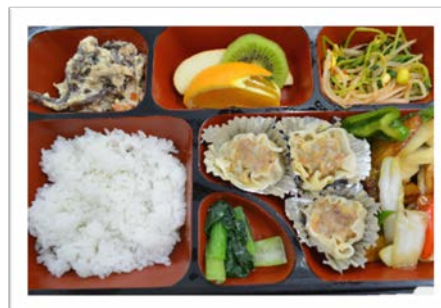


図8 ヘルシー日替弁当L
(486kcal 塩分2g)

7.その他

1) パープルリボン in 津 2016

膵癌撲滅市民公開講座「パープルリボン in 津 2016」では、12F レストラン四韓折々の協力を得て、「パープルパン」を作成しました。平治煎餅とパープルリボンとのコラボレーションで作成したパープル煎餅も販売しました。



図9 パープルパン/平治煎餅・栄養食事相談ブース

実績

1)平成 28 年度 栄養指導件数

●個人栄養指導

食種名または疾患名等	個別指導					
	入院			外来		
	初回	2回目以降	非加算	初回	2回目以降	非加算
常食			4			2
軟食			1			0
流動食			1			0
計			6			2
口腔・咽頭・食道疾患食	3	1	0	0	1	1
胃・腸疾患食	13	7	11	4	158	1
肝・胆疾患食	113	165	39	57	1,200	33
脾臓疾患食	14	22	2	10	86	7
心臓疾患食	101	74	8	6	516	8
高血圧症食	21	19	5	20	382	4
腎臓疾患食	133	85	23	52	1,728	33
貧血食	0	0	0	0	3	0
糖尿病食	133	173	50	128	2,265	155
肥満症食	5	7	8	17	267	38
脂質異常症食	8	9	3	9	318	19
痛風食	0	0	0	2	12	0
先天性代謝異常食	1	0	0	0	5	0
妊娠高血圧症食	7	3	3	1	16	5
アレルギー食	0	0	0	0	0	0
食欲不振症食	0	0	2	0	10	0
治療乳	0	0	0	0	0	0
術後食	25	8	2	1	6	1
検査食	0	1	0	26	4	0
その他	0	0	1	0	0	5
がん患者	46	93	59	49	193	15
摂食・嚥下機能が低下した患者	3	2	1	2	5	1
低栄養状態にある患者	5	12	0	5	45	1
小計	631	681	217	389	7,220	327
合計	631	681	223	389	7,220	329

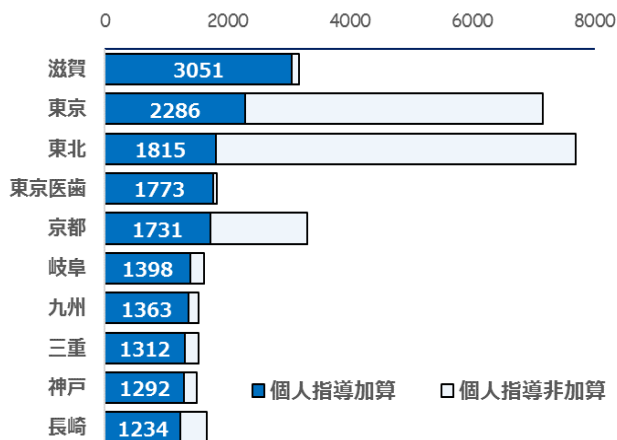


図 10 全国国立大学個人外来栄養指導件数
—入院—
43 施設中上位 10 施設(平成 28 年度)

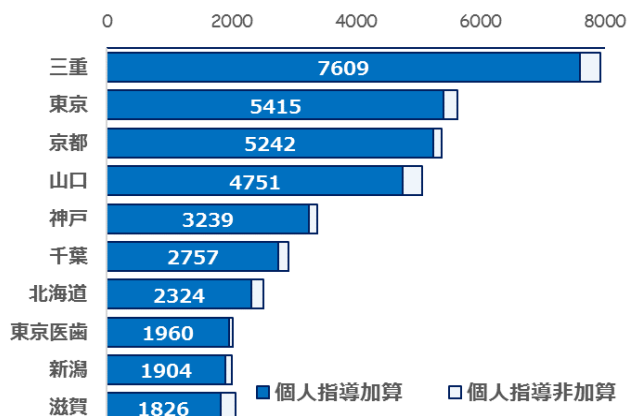


図 11 全国国立大学個人栄養指導件数
—外来—
43 施設中上位 10 施設(平成 28 年度)

●集団栄養指導

食種名または疾患名等	集団指導			
	入院		外来	
	加算	非加算	加算	非加算
高血圧症食	5	0	91	4
糖尿病食	13	0	69	2
肝・胆疾患食	4	0	52	0
腎臓疾患食	3	0	36	0
肥満症食	0	0	27	0
脂質異常症食	0	0	7	0
その他	1	25	20	134
合計	26	25	302	140

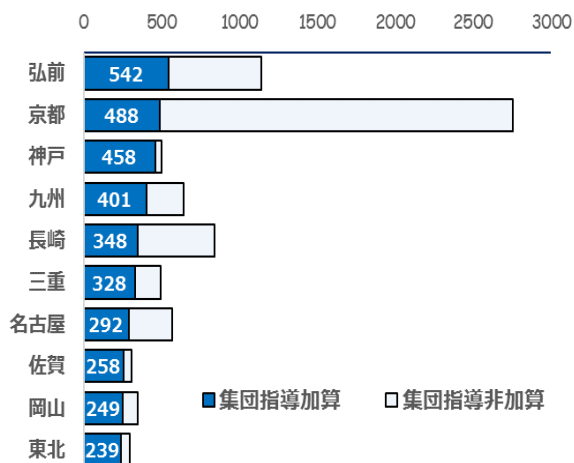


図 12 全国国立大学集団栄養指導件数
43 施設中上位 10 施設(平成 28 年度)

1) 論文/著書

- 原 なぎさ 当院における肝硬変に対する多職種でのチームサポート 臨床栄養 Vol.128 No.7 p 887-892 2016.6

- 2) 原 なぎさ NST-入院・外来を通じた連続性のある栄養管理で生命予後改善を目指す 肝硬変のマネジメント 改訂第3版 p82-85 2016.11
- 3) 原 なぎさ 鉄欠乏性貧血の栄養食事指導 貧血学—最新の診断・治療動向— 日本臨床社 p127-131 2017.1
- 4) Hara N, Iwasa M, et al. Sarcopenia and Sarcopenic Obesity Are Prognostic Factors for Overall Survival in Patients with Cirrhosis. Intern Med. 2016;55(8):863-70.

2) 学会

- 1) 原 なぎさ 「肝硬変におけるサルコペニア肥満は生命予後規定因子である—BIA 法を用いた検討—」第 52 回日本肝臓学会総会 2016.4(千葉)
- 2) 石留 真寿美 「高血圧症に対する初回栄養指導介入時の体組成評価」 第 5 回臨床高血圧フォーラム 2016.5(東京)
- 3) 寺坂 枝里子 「栄養指導患者におけるアルコール依存リスクの検討—AUDIT を用いて—」 第 13 回日本末病システム学会栄養部会研究大会 2016.7(愛知)
- 4) 原 なぎさ 「膵がん患者・家族に対する栄養療法の新たな試み—膵がんグルメディカル教室—」第 47 回日本膵臓学会大会 2016.8(仙台)

メディカルスタッフアワード受賞



- 5) 原 なぎさ 「糖尿病患者において鉄過剰状態は脳・心血管イベントを促進する」 第 40 回日本鉄バイオサイエンス学会学術集会 2016.9(名古屋)
- 6) 浅野 弘子 「高血圧症食の栄養指導における肥満の頻度と体組成と血圧との関連性」第 39 回日本高血圧学会総会 2016.9(仙台)
- 7) 原 なぎさ 「肝硬変患者における BIA 法を用いた骨塩量の検討」 第 20 回 JDDW 2016.11(神戸)

- 8) 浅野 弘子 「膵がんグルメディカル教室の効果～参加者のアンケート結果より～」第 6 回膵がん教室ワークショップ 2016.12(広島)
 - 9) 原 なぎさ 「肝硬変患者の長期栄養療法における骨格筋量を含めた体組成の経時変化」第 20 回 日本病態栄養学会 2017.1(京都)
 - 10) 石留 真寿美 「高血圧症食の栄養指導患者における体組成値の変化と血圧の関連性」第 20 回 日本病態栄養学会 2017.1(京都)
 - 11) 服部 文菜 「慢性腎臓病患者への継続栄養指導の効果」第 20 回 日本病態栄養学会 2017.1(京都)
- 若手優秀特別研究賞受賞



- 12) 浅野 弘子 「肥満を伴う栄養指導受講患者における減量効果と指導継続期間との関係」第 20 回 日本病態栄養学会 2017.1(京都)
- 13) 寺坂 枝里子 「栄養指導患者におけるアルコール依存のリスク検討—AUDIT を用いて—」第 20 回 日本病態栄養学会 2017.1(京都)

他

4) 講演

- 1) 原 なぎさ 「慢性肝疾患患者の栄養サポートにおける新たな試み—肝臓病グルメディカル教室—」第 38 回日本臨床栄養学会総会シンポジウム 2016.10(大阪)
- 2) 原 なぎさ 「日常業務にどのように研究を取り入れるか」H28 全国国公立大学病院医療技術職員研修
- 3) 原 なぎさ 「各施設での肝疾患患者への栄養療法の取り組みの工夫」第 20 回 日本病態栄養学会 ランチオンセミナー 2017.1(京都)

■ 臨床研究 (2016 年度)

- 1) 糖尿病透析予防指導管理に関する実態調査(2013.3～) 糖尿病内科/循環器・腎臓内科

- 2) 膵癌の栄養療法実態調査(2015.1～)
肝胆膵移植外科/消化器肝臓内科